

グローバル MOT 研究センター

Centre for Global MOT Research



組織、人、知識をつなぐ「ブリッジ」としての役割を果たし、イノベーション創出を支援する

今日、技術を背景としないビジネスは、ほとんど存在しません。従来「技術経営 (MOT: Management of Technology)」は、「技術のわかる経営者」「経営のわかる技術者」を養成することを目的とし、研究の対象は企業における「研究開発」に関わる経営のありかたとされてきました。

それが20世紀後半以降、資本主義の核心が工業経済から知識経済へと移行するのに伴い「研究開発」に加えて「新しいビジネスモデル」、「ソーシャルデザイン」もカバーするMOTが必要になってきています。そうした中であってグローバルMOTセンターは、創業時に欠かせないイノベーションの創出や事業活動の中で直面する課題の解決について学術・教育の研究を

担うべく設立されました。イノベーションは世の中にある知識と知識の新しい組み合わせによって生まれるとされます。本センターは、新しい時代のイノベーション創出に答えるべく、これまでで出会うことのなかった組織と組織、人と組織、人と人をつなぐ「ブリッジ」としての役割を担うとともにイノベーションの創出と普及過程に関わる研究を行います。

本センターでは現在、「①新技術および新事業の創造や普及に関する研究」「②事業の持続性を実現するための技術経営上の諸課題に関する研究」「③技術経営における会計、ファイナンスおよび知的財産に関する研究」「④技術経営の特定事例に基づく現状および将来分析や歴史的見地等からイノベーショ

ン創出を支援する研究」「⑤中小企業や地域おこしなどに対する技術経営的見地からの研究」「⑥グローバル企業や国際研究機関等との国際連携」「⑦SDGsを念頭にしたイノベーション力の強化に関する研究」の7つのテーマを掲げて研究活動を行っています。

特長は、企業や諸組織との産学連携によって、実社会に寄与する知見を収集し、イノベーションによる新規ビジネスの創出、社会実装まで視野に入れているところにあります。そのためのセミナーやワークショップ、国内外の学会の開催や支援に加え、企業との研究交流も活発に行っています。またこれらの機会を立命館大学テクノロジー・マネジメント研究科の教育・研究などの教学に生かすとともに、社会人向けのプログラムや企業研修にも応用し、新しい世界で活躍するMOT人材を育成する役割も果たします。

今後は、あらたな形での異業種連携、官学連携も含めたイノベーション創出に関する研究を推進します。そしてグローバルに切磋琢磨しながら独創的な研究・教育を実践し、国を代表するMOT研究拠点として存在感を高めていきます。



■ 新技術および新事業の創造や普及に関する研究

センターの中核となるMOT研究科の教員は、企業での実務経験、博士の学位を有しており、これらの背景を活かした、新技術および新事業の創造や普及に関する研究（新しい時代の研究開発や、ビジネスモデルのありかたに直結する研究）を行っています。

■ 技術経営における会計、ファイナンスおよび知的財産に関する研究

研究メンバーには公認会計士や弁理士資格を有しているものもいることから、企業へのプロセスコンサルティングやアクションリサーチといった研究手法を実践。その有効性も評価します。

■ SDGsを念頭にしたイノベーション力の強化に関する研究

国連加盟国のミッションであり、ESG投資において重視される「SDGs（持続可能な開発目標）」を組み込んだイノベーションについて研究します。既存事業の棚卸ではなく、新規事業を通じたSDGsの達成を目指す研究を行っています。



主な研究テーマ

- リスク評価管理方法論、システム研究
- 知的財産を活用した経営戦略
- ヘルスケア関連製品の効率的研究開発における理論・実践研究
- 次世代商品企画開発アプローチの開発とその検証
- SDGsを念頭に置いたイノベティブなアイデア発想法
- 需要同期生産システムに関する研究
- 新製品・新サービスのファジィ・フロント・エンドにおける活動内容と成功との関係性
- 中堅・中小・ベンチャー企業の経営戦略
- 産業活動における Step by step の日本と Skip by skip の中国の比較
- 組織で働くプロフェッショナルの働きがいの研究
- 航空宇宙領域におけるマネジメント手法の知識体系化と応用研究

センター長：角埜 恭央（テクノロジー・マネジメント研究科 教授）

主な研究拠点：大阪いばらきキャンパス

お問い合わせ：立命館大学 研究部 OIC リサーチオフィス TEL: 072-665-2570 FAX: 072-665-2579 E: oicr@st.ritsumei.ac.jp